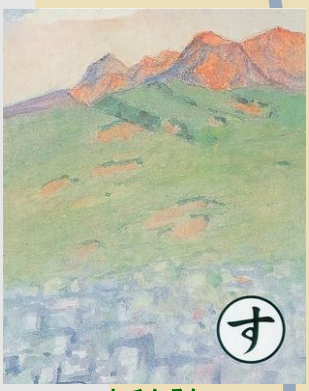
令和８年度　文書館の逸品３　令和8年9月1日（火）～10月30日（金）

「古社寺調」（国指定重要文化財絵図）
～赤城神社が見つめてきた大沼湖畔～

上毛三山の一つである赤城山は、古くから信仰の対象であり、豊かな自然環境を有した、伸びやかな裾野を持つ群馬県の象徴とも言える名山です。大沼や小沼、覚満淵などの山頂エリアには、かつて幸田露伴や志賀直哉をはじめとする多くの文豪が滞在しました。

また、昭和10年（1935）には県立公園にも指定され、現在に至っています。公園内にはビジターセンターやキャンプ場、牧場などの施設があり、休日には県内外から大勢の人たちが訪れます。



上毛かるた
絵札「裾野は長し赤城山」

赤城神社の今と昔

前橋市富士見町にある通称「大洞赤城神社」は、大国主命（おおくにぬしのみこと）・豊城入彦命（とよきいりひこのみこと）・徳川家康ほか六柱を祭神として祀っています。本来は赤城の山と沼を御神体とします。大沼湖畔の大洞（だいどう）の地にありましたが、昭和43年（1968）に湖上の小鳥ヶ島に移築しました。

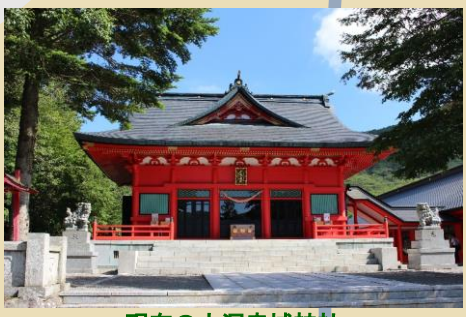
社伝によると、崇神（すじん）天皇の時代に豊城入彦命が大国主命を奉斎（ほうさい）し、東国経営を祈るとともに疫病絶滅を祈願して創建したといいます。



赤城神社〈A0181A0M　2316 1/2　古社寺調〉明治29年（1896）　原本　重要文化財

古社寺調（こしゃじしらべ）とは

明治28年（1895）、明治政府は「古社寺調査事項標準」により、保護対象となる古社寺等の実態調査を指示し、報告書と絵図の提出を求めました。調査事項は、所在地名、社寺仏堂・名所旧蹟名称、祭神・本尊名称、事由、建物、絵図面等です。建物や境内の絵図面は、非常に詳細に描かれたものが多く、その中には彩色されたものもあり、当時の社寺の姿をうかがい知ることができます。



現在の大洞赤城神社
前橋観光コンベンション協会提供

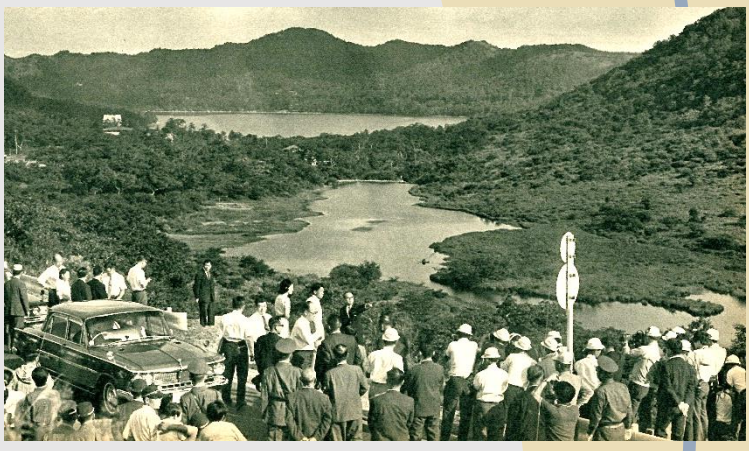
群馬県立文書館（もんじょかん）
〒371-0801
前橋市文京町3丁目27-26
TEL：027-221-2346
URL：https://www.pref.gunma.jp/site/monjyokan

休 館 日 ▶ 月曜日・国民の祝日・月末整理日・特別整理日
開館時間 ▶ 9:00～17:00　（観覧無料）

写真から見る昭和30～40年代の赤城山



A0388B00 1158-1 （昭和33年）
赤城山頂大沼大洞より地蔵岳へのロープウェイ



GS19990127「グラフぐんま 臨時増刊号」（昭和44年）
皇太子夫妻時代の上皇上皇后両陛下、夏の覚満淵を散策される

赤 城 山 の 四 季









春：GS20160543「グラフぐんま　第587号」（平成28年）　夏：GS20140445「グラフぐんま 第559号」（平成25年）
秋：GS20190412「グラフぐんま　第618号」（令和元年）　冬：GS20190405「グラフぐんま　第611号」（平成31年）